



東京文化会館の取り組み～あらゆる人が音楽で交流できる社会をめざして

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質(QOL)の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。詳しくは東京文化会館公式サイトをご覧ください。



t-bunka.jp

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
共催：東京オーケストラ事業協同組合
協力：パイオニア株式会社、株式会社エンサウンド、ブリティッシュ・カウンシル
助成：一般財団法人地域創造



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

企画制作：東京文化会館

館長：日枝 久

副館長：林 久美子

事業企画課長：梶 奈生子

制作：杉山幸代

広報：船川満理、佐藤健太郎、里神大輔、深谷多恵、緒方 愛、岡 伊陽子

お問合せ：東京文化会館 事業係 03-3828-2111(代表)

t-bunka.jp @tbunka_official



デザイン：太田博久 イラスト：土本亜祐美

Music Program TOKYO

Workshop Workshop! 2020 on stage & legacy



Tokyo Bunka Kaikan Relaxed Performance

リラックス・パフォーマン ～世代、障害を越えて楽しめるオーケストラ・コンサート～ Orchestra for Everyone

(令和2年)

2020年7月24日(金・祝)

14:00開演

公演時間約60分／休憩無し

Fri (National Holiday), Jul 24, 2020 14:00

Approximate Running Time: 60 minutes/No intermission

東京文化会館 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

東京文化会館 リラックス・パフォーマンスへようこそ!

「リラックス・パフォーマンス」とは、通常の公演と異なり、完全な静寂でなくても鑑賞を楽しめる環境の公演です。クラシック音楽のコンサートが初めての方も、発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、あらゆる人が一緒に音楽を楽しめるように様々な工夫をしています。例えば…

- 客席の照明を完全に暗くしません。
- 上演中に休憩が必要になった場合は、客席外に出ることができます。
- 十分なパーソナルスペースを確保してお座りいただけるように、予め定員を少なく設定しています。
- 聴覚障害や聴こえに不安がある方でも音楽を身体で感じられるように、体感音響システム(ボディソニック、ハグミー)付きの座席を用意しています。

お願い



ホールの中
では食べ
たり飲ん
だり
できません。



携帯電話や
アラーム付
き腕時計
計などは
電源を切
りましょう。



公演の写
真撮影、
録音、
録画は
できません。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力ください

- 会場内ではマスクの着用をお願いします。スタッフもマスクやフェイスシールドなどを着用しておりますのでご了承ください。
- 咳エチケットやこまめな手洗い、手指の消毒にご協力ください。
- 人と人の距離を最低1mあけるように努め、ソーシャル・ディスタンスの確保にご協力ください。
- 大きな声での会話や演奏者への声援はお控えください。
音楽や演奏が気に入ったら、演奏が終わったときに大きな拍手をお願いします!

プログラム Program

ヴィラ=ロボス：『ブラジル風バツハ』第2番より 第4楽章「カイピラの小さな汽車」
ジョン・ウィリアムズ：オリンピック・ファンファーレとテーマ
オフエンバック：喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」
プロコフィエフ：バレエ『ロミオとジュリエット』より「騎士たちの踊り(モンタギュー家とキャピュレット家)」
マスカーニ：オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より 間奏曲
アンダーソン：タイプライター
プッチーニ：オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」
ブリテン：オペラ『ピーター・グライムズ』より《4つの海の間奏曲》第2曲「日曜の朝」
外山雄三：管弦楽のためのラプソディー
ヨハン・シュトラウス1世：ラデツキー行進曲

VILLA-LOBOS: IV. "O trenzinho do caipira" from *Bachianas Brasileiras No.2*
John WILLIAMS: Olympic Fanfare and Theme
OFFENBACH: "Can can" from *Orphée aux Enfers*
PROKOFIEV: "Dance of the Knights (Montagues and Capulets)" from *Romeo and Juliet*
MASCAGNI: Intermezzo from *Cavalleria rusticana*
ANDERSON: The Typewriter
PUCCINI: "Nessun dorma" from *Turandot*
BRITTEN: II. "Sunday Morning" (4 Sea Interludes) from *Peter Grimes*
TOYAMA Yuzo: *Rhapsody for Orchestra*
J.STRAUSS I: *Radetzky March*

出演 Performed by

指揮：三ツ橋敬子
テノール：村上敏明 *第3回東京音楽コンクール声楽部門第3位
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
ナビゲーター：磯野恵美、野口綾子(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
手話通訳：小徳良枝、瀬戸口裕子、長谷川美紀、山崎 薫

Conductor: MITSUHASHI Keiko
Tenor: MURAKAMI Toshiaki *3rd prize of Voice Section at the 3rd Tokyo Music Competition
Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra
MC: ISONO Emi, NOGUUCHI Ayako (Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leaders)
Sign Language Interpreters: KOTOKU Yoshie, SETOGUCHI Yuko, HASEGAWA Miki, YAMASAKI Kaoru

※当初出演を予定しておりましたロンドン交響楽団メンバーと参加者は出演中止となりましたため、上記の通りプログラムの内容を変更いたします。

*Kindly be informed that the participation of the London Symphony Orchestra members and some other participants originally planned for this event has been canceled. We have changed the program as posted herein.

三ツ橋敬子／指揮

東京藝術大学及び同大学院を修了。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2016年神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ!」がスタート。子どもたちへ多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。



©大杉隼平

村上敏明／テノール

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第17期生修了。第9回マダム・バタフライ世界コンクールグランプリ優勝。第40回日伊声楽コンクール第1位。第35回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。第15回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。東京都出身。



東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立、日本のオーケストラとして最古の歴史をもち、メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。定期演奏会などの自主公演、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK 他での放送演奏、教育プログラムなどの国内活動をはじめ、海外公演でも高い評価を得ている。



©上野隆文

磯野恵美(東京文化会館ワークショップ・リーダー)／ナビゲーター

東京音楽大学フルート課程卒業。これまでにラ・フォル・ジュルネ、「子どもたちと芸術家の出あう街」等に出演、BBC交響楽団やロンドン交響楽団との教育プログラムにも参加。現在は首都圏を中心にワークショップに多数出演する他、ワークショップ・リーダー人材の後進の育成にもあたる。東京音楽大学助手。



©ヒダキトモコ

野口綾子(東京文化会館ワークショップ・リーダー)／ナビゲーター

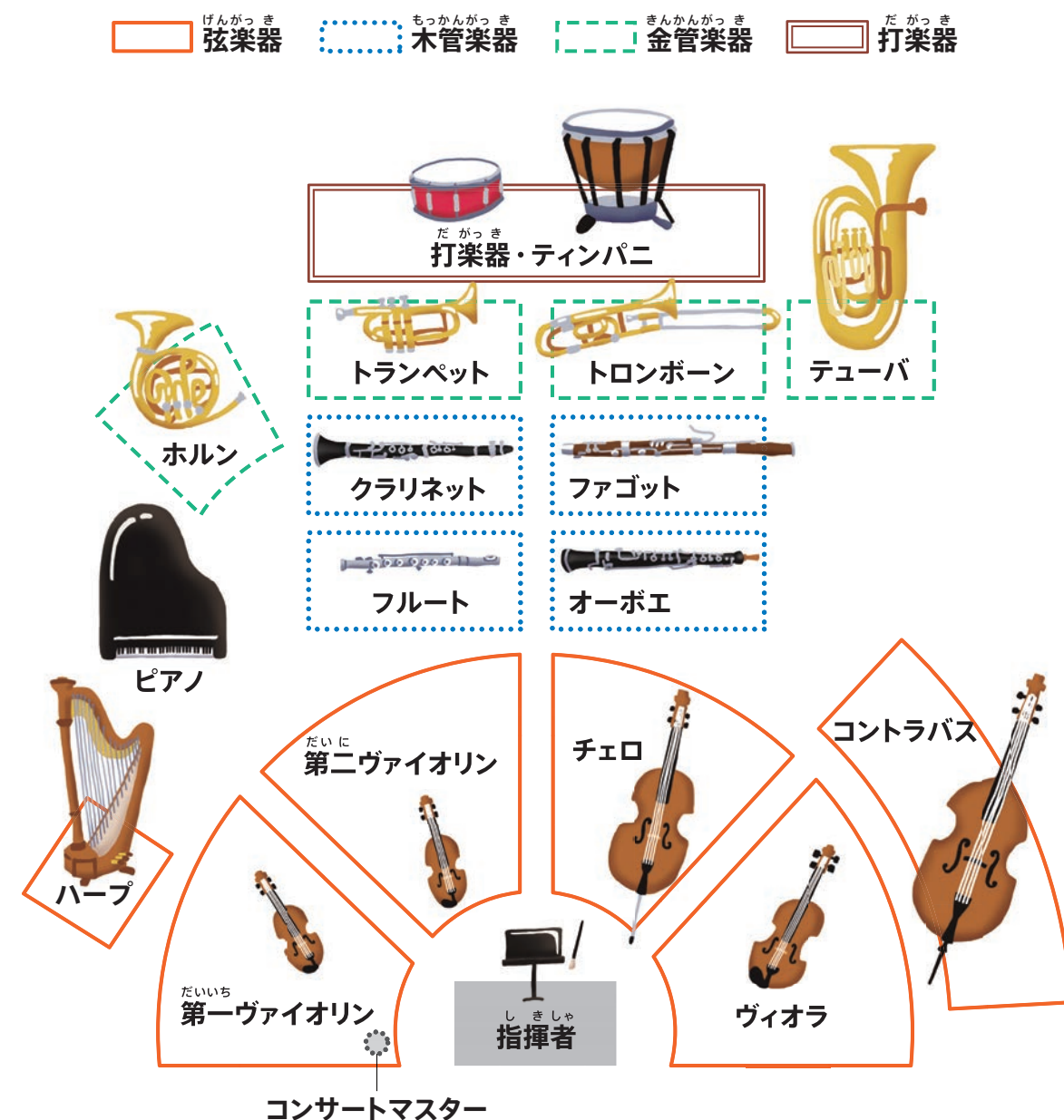
フェリス学院大学音楽学部音楽芸術学科卒業。在学中よりアウトリーチコンサートの企画実践に携わる。これまでに地方公共団体や教育関連企業のワークショップに多数出演。観客参加型コンサートの構成・司会、国際音楽祭の子ども向けコンサートやワークショップの企画制作なども手掛ける。



©ヒダキトモコ

オーケストラの楽器と配置

オーケストラには弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器など色々な種類の楽器がずらり。多いときは100人以上の演奏者が一緒に演奏をすることもあるので、指揮者も欠かせません。メロディやハーモニー、違う音色が重なり合うことで、多彩な音楽が生まれます。



※楽器の並び方(配置)は曲や演奏会によって変わります。

ヴィラ=ロボス：

『ブラジル風バッハ』第2番より
第4楽章「カイピラの小さな汽車」

ブラジルの南部に住むカイピラたち(田舎の人々)は、汽車に乗って農園へ働きにでかけます。風をきりながら走る汽車の音や、カイピラたちの歌が聴こえてきます。



ブリテン：

オペラ『ピーター・グライムズ』より

《4つの海の間奏曲》第2曲「日曜の朝」

海に見える漁村のうらかな日曜日の朝、教会の鐘の音で村人たちは活動をはじめます。人も鳥も歌い、遠くの海は太陽の日差しでキラキラと光り輝いています。



プッチーニ：オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」

舞台は中国。王子カラフはトゥーランドット姫に「明日朝までに僕の名前を明かせたら、姫との結婚をあきらめましょう」と挑戦します。プロポーズを断りたい姫は「王子の名前がわかるまでは誰も寝てはならぬ…」と人々に命令します。カラフは「夜明けとともに名前を告げて、私はあなたを手に入れるのです」と歌います。



ジョン・ウィリアムズ：

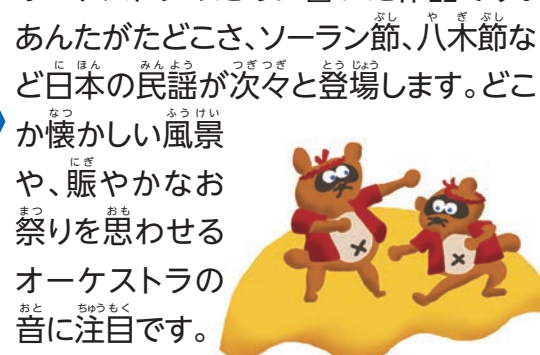
オリンピック・ファンファーレとテーマ

金管楽器が活躍する華やかなファンファーレと堂々としたテーマは、人々のオリンピック開幕への喜びとワクワクする気持ちを表わしているようです。「スター・ウォーズ」や「ハリー・ポッター」などの映画音楽を作曲したウィリアムズが、1984年ロサンゼルス大会のために作曲しました。



外山雄三：管弦楽のためのラプソディー

日本の作曲家・指揮者の外山雄三がオーケストラのために書いた作品です。あんたがたどこさ、ソーラン節、八木節など日本の民謡が次々と登場します。どこか懐かしい風景や、賑やかなお祭りを思わせるオーケストラの音に注目です。



オッフェンバック：喜歌劇『天国と地獄』より「カンカン」

ギリシア神話を素材にした喜歌劇『天国と地獄』。「カンカン」とはフランスで生まれた踊りです。軽やかなギャロップのリズムに乗って、踊りながら追いかけてっこしているかのよう。様々な楽器による音楽のバトンリレーにも注目です。



ヨハン・シュトラウス1世：

ラデツキー行進曲

小太鼓で始まるこの行進曲には、ウィーンの民謡が散りばめられています。オーストリア作曲家のシュトラウス1世がラデツキー将軍の勝利を祝うために作曲しました。



プロコフィエフ：

バレエ『ロミオとジュリエット』より「騎士たちの踊り(モンタギュー家とキャピュレット家)」

憎み合うモンタギュー家とキャピュレット家。しかし、モンタギュー家のロミオとキャピュレット家のジュリエットは恋に落ちてしまいます。両家の騎士たちが堂々と歩いている音楽と、ジュリエットの恋心を表すフルートの旋律による穏やかな音楽の違いが聴きどころ。



アンダーソン：タイプライター

昔のオフィスで大活躍していたタイプライター。ボタンのようなキーボードを打つと文字が紙に印字されます。カタカタパチパチ、まるで音楽のように聞こえてきませんか？



マスカーニ：

オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』より 間奏曲

イタリアの田舎町に暮らす大人の男女の悲しい恋愛ドラマを描いたオペラです。ゆったりとした甘いメロディの間奏曲は、特に有名です。

